

会 員 各 位

一般社団法人 型技術協会

### 第36回型技術協会賞受賞者の決定について

本会では、型技術ならびに型産業のより一層の発展を図ることを目的に「型技術協会賞」を設け、1991年より「功績賞」「技術賞」「型技術論文賞」、1996年より「型技術者会議」および「型技術ワークショップ」の発表より総合的に優秀な講演者等を顕彰する「奨励賞」が設置され、特に優れかつ貢献度の高い型に関する技術等に対して、毎年顕彰を行っております。本年もそれぞれの受賞者を決定いたしましたので、ここに各々の受賞者をお知らせいたします。

なお、本賞における賞金および表彰に関する費用につきましては、(公財)金型技術振興財団の協力を得て行っております。

表彰式は「型技術者会議2026」開催中の下記日程で行います。多数のご参加をお願いいたします。

#### 贈 賞 式 (総会含む)

日 時：2026年6月25日(木) 13:30～14:30

場 所：AP 浜松町

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル B館 B1F

\* 「型技術者会議 2026」の参加はお申込みが必要となります

## 第36回型技術協会賞

### 「功績賞」

型技術の進歩、向上、発展に関して特に功績の大きかった個人

受賞者 **磯部 利行** (株式会社 FTS 元トヨタ自動車株式会社)



生産技術エンジニアとして自動車ボディ製造ライン立上げや北米での車両生産に従事し、開発～量産立上げにおける QCD 改革を主導。現場に根差した高度な生産技術力を発揮され、特に新しい材料のアルミ材料、超ハイテン材料の成形技術向上、生産課題克服を牽引され、TNGA ボディなど次世代車両構造への転換を生産技術領域として押しすすめた。2018 年より型技術協会 会長として TPS (トヨタ生産方式) で培った型技術とモノづくりを通じた人材育成についてもシンポジウムを通じて幅広く展開され、協会の発展に尽力された。

### 「技術賞」

特に優れた貢献度の高い型技術の開発者 (一般公募)

受賞題目及び受賞者

**精密積層金型におけるカシメ用ダボパンチの耐摩耗性向上化技術の開発**

**白瀬 敬一** (神戸大学)

**田中 裕介** (株式会社ノトアロイ)

**大崎 隆史** (エリコンジャパン株式会社)

**東 成生** (株式会社東郷)

**有松 直弥** (マツダ株式会社)

受賞題目及び受賞者

**スクラップ落下シミュレーションの開発**

**柴田 康德** (株式会社 SUBARU)

**青野 昌弘、梶山 祐甫、堤 真人** (株式会社先端力学シミュレーション研究所)

受賞題目及び受賞者

**日本流 DX 金型づくり～デジタルトリプレットの実践～**

**小林 祐大、山本 晋也、工藤 瞬、清水 憲、藤田 美樹**

(株式会社デンソー)

## 「型技術論文賞」

「型技術」誌に掲載された特に優れた論文等の著者

受賞論文及び執筆者

ダイカスト金型構造の最適化への取組み (2025.9月号)

丹羽 隆徳 (Honda Engineering Asian Co.,Ltd.)

**Ketut Sujatita Lila** (PT Astra Honda Motor)

横山 邦博 (本田技研工業株式会社)

受賞論文及び執筆者

ギガキャスト用金型への金属 AM 技術適用に向けた取組み (2025.10月号)

松原 雅人 (株式会社日本精機)

## 「奨励賞」

型技術者会議および型技術ワークショップにおける優秀講演者および連名者

「型技術者会議 2025」

プレス部品外観評価定量化の取組み

竹澤 光翼、遠西 孝哲、奥澤 仁 (株式会社 SUBARU)

常識破りのデザインを実現する新工法

近藤 史弥、福田 幸介 (トヨタ自動車株式会社)

プレス金型の設計自動化の考え方と取組み

村田 好隆 (本田技研工業株式会社)

「型技術ワークショップ 2025」

量産データの見える化

久野 拓律 (株式会社アデック)

ストックを認識した自動編集機能による高効率パス

山原 大知 (株式会社 C&G システムズ)

※所属は論文掲載時による